

目 次

I. 令和3年度総括研究報告書

- 食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握と
その治療法の開発等に関する研究……………○
研究代表者 古江 増隆

II. 令和3年度分担研究報告書

01. 油症検診受診者の血液中 PCDF 等（ダイオキシン類）濃度実態調査……………○
研究分担者 香月 進
研究協力者 堀 就英, 平川 博仙, 飛石 和大, 新谷 依子, 佐藤 環,
古谷 貴志, 平川 周作, 小木曾 俊孝, 戸高 尊, 広瀬 勇氣,
宮脇 崇,
02. Thermo Scientific DFS Dual Data XL システムによる
油症患者血液中ダイオキシン類分析法の検討 (2) ……………○
研究分担者 戸高 尊
研究協力者 広瀬 勇氣, 上原口 奈美, 梶原 淳睦, 千々和 勝己, 池田 光政
03. 油症検診データを用いた基礎的解析……………○
研究分担者 香月 進
研究協力者 高尾 佳子, 高橋 浩司
04. 油症患者追跡調査……………○
研究分担者 小野塚 大介
研究協力者 中村 優子, 辻 学, 古江 増隆
05. 油症曝露による女性特有の健康影響に関する研究……………○
研究分担者 月森 清巳
研究協力者 加藤 聖子, 諸隈 誠一
06. カネミ油症患者の漢方治療に関する実態調査に関する研究……………○
研究分担者 貝沼 茂三郎
07. 油症検診における眼病変の追跡調査……………○
研究分担者 園田康平
08. 油症検診受診者における角膜内皮細胞……………○
研究分担者 上松聖典
研究協力者 北岡 隆
09. 長崎県油症地区における口腔乾燥症に関する研究……………○
研究分担者 川崎五郎
研究協力者 吉富 泉

10. 油症における末梢血 CD3 陽性細胞に対する 2, 3, 4, 7, 8-PeCDF の影響……………○
研究分担者 辻 博
11. 油症患者における皮膚ガス分析……………○
研究分担者 室田 浩之
研究協力者 村山 直也
12. 油症患者の関節症状に関する研究 —Kynurenine pathway の関節炎への影響—……………○
研究分担者 津嶋秀俊
13. カネミ油症患者における中枢・末梢神経障害の文献的考察と他の中毒性疾患による神経障害との差異の研究……………○
研究分担者 緒方 英紀
14. ダイオキシン類による気道上皮傷害における肺サーファクタント蛋白に関する検討……………○
研究分担者 濱田 直樹
研究協力者 鈴木 邦裕, 柳原 豊史
15. 感覚評価を用いたベンゾピレン投与ラットに対する β -NMN の効果検討……………○
研究分担者 申 敏哲
研究協力者 吉村 恵
16. Ah リガンドと消化管における腸内細菌の研究……………○
研究分担者 鳥巢 剛弘
17. 低残留性である 2, 4, 6-三塩素置換 PCB 異性体の動物肝ミクロゾームによる代謝……………○
研究分担者 古賀 信幸
研究協力者 太田 千穂
18. 皮膚の慢性炎症におけるエンドセリン-1 と AHR の相互作用……………○
研究分担者 中原 剛士
19. 膠原病の皮疹形成機序における AHR の役割に関する研究……………○
研究分担者 冬野 洋子
20. 2, 3, 7, 8-Tetrachlorodibenzo-p-dioxin による出生児の性未成熟の機構解析：
脳の性分化と生殖腺の発達に対する芳香族炭化水素受容体の寄与……………○
研究分担者 石井 祐次
21. ダイオキシン誘導性セレン結合性タンパク質 1 (Selenbp1) の腎臓における役割：
脂質代謝の制御とストレス応答との関連性の検討……………○
研究分担者 石井 祐次
22. AhR シグナルの活性化によるヒト歯根膜細胞の骨芽細胞分化抑制メカニズムの解析……………○
研究分担者 前田 英史

23. AAhR シグナルの活性化はヒト歯根膜細胞の MMP 発現に
どのような変化を及ぼすか……………○
研究分担者 友清 淳

- III. 研究成果の刊行に関する一覧表……………○